

結果概要(スペースに収まるように入力してください)

撮影された動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計3029個体、そのうち哺乳類は2631個体であった(表1)。 撮影とれた動物の個体数を集合したことが、主調量地域で目前3029個体、でのうら幅が残ಡ2031個体であった(表す)。 最も個体数が多かった哺乳類はタヌキの780頭で、次いでカモシカ301頭、ツキノワグマ262頭、外来種のハクビシン236頭、キツネ198頭と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類15種、鳥類11種であった。 撮影個体数が特に多かった調査地点としては、1:389個体、6:309個体、7:301個体などが挙げられる。種数について見ると、3:19種が最大で、次いで4:16種、19:14種という結果となった。 ニホンジカについては8箇所から合計10頭が撮影され、調査地27では本調査において初めてメスが1頭撮影された。ま

ニホンジカ同様近年分布の北上傾向が見られるイノシシが、調査地5と13から1頭ずつ撮影された。







ニホンジカ♀ (調査地27:8月31日)

問い合わせ

イノシシ(調査地5:10月8日)

ハクビシン2頭(調査地6:6月18日)

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3

TEL: 0185-79-1003 IP: 050-3160-5865 FAX: 0185-79-1005

≪原本(データ)の帰属について≫

- 「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
- 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
- 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

